

平成 29(2017)年

禅語こよみ



存正
元禄
三年

せんかく き あそ うんがい いただき
仙客 来たり遊ぶ 雲外の巔
しんりよう す お どうちゆう ふち
神龍 栖み老ゆ 洞中の淵

(石川丈山「富士山」詩)

今年こそ 雲かけ登る 龍に乗り
富士の^{たかね}高嶺の 花を手にしん

協力 恵林寺 (山梨県)

発行／公益財団法人 禅文化研究所
〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
花園大学内 電話075-811-5189
<http://www.zenbunka.or.jp>

富嶽登龍図 (狩野栄信筆・江戸時代)

「富嶽登龍図」は、龍が風雲を呼び起こし、海から富士山に登り上がる絵柄で、江戸初期に始まったテーマ。

甲斐の恵林寺所蔵品より 平成 29(2017)年 禅語こよみ

恵林寺えりんじは、甲斐国(山梨県)の妙心寺派の古刹。鎌倉時代末期に、当地の領主二階堂出羽守貞藤が、夢窓疎石を招いて開創したのが始まり。しかし、恵林寺といえは、武田信玄とその師であった快川紹喜。織田信長の焼き討ちに遭い、快川は三門楼上の燃えさかる炎の中で、「心頭滅却すれば火も自ずから涼し」という遺偈をはなつたと伝えられる。今年の「禅語こよみ」は、禅文化研究所のデジタルアーカイブス事業として、同寺所蔵の宝物悉皆調査を行なった中から、逸品を使用させて頂いた。





二雀宿竹園（狩野探幽筆・江戸時代）

北野江南自在身
志傳衣鉢現天真
旧時楊柳觀音老
今作梅花樹下神
慧林快川拜贊



天神図（快川紹喜賛・室町時代）

北野江南自在身

遠伝衣鉢現天真

旧時楊柳觀音老

今作梅花樹下神

慧林快川拜贊



墨竹図(野馬一道筆・明治時代)



名花十友図
（つばきさんえん）
椿椿山筆・江戸時代



牡丹に杜鵑図（室町〜桃山時代）



白衣観音図 (伝狩野正信筆・江戸時代)



樓閣山水圖（曾我蕭白筆・江戸時代）



狩野探幽筆

維摩居士図（狩野探幽筆・江戸時代）



羅漢圖（南北朝時代）



面壁達磨図(江戸時代)



鎧不動尊図（武田信廉筆・室町時代）



狩野元仙藤原方信謹画



出山釈迦図（狩野元仙筆・江戸時代）